



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：井上 修 副会長：鈴木一比古 幹事：加藤 篤 公共イメージ向上委員長：瀧谷恵二

UNITE
FOR
GOOD
よいことのために
手をとりあおう

2025-2026年度 RI会長メッセージ

よいことのために手をとりあおう

2025-2026 RI会長
フランチェスコ・
アレツォ
<イタリア>



第1769回例会 令和8年2月17日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け中央ロータリー 唐澤千明ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・支援留学生 ラムザン・アシャール様
- ・支援留学生 ジュ・イエソン様 (Zoom)
- ・伊那英語ガイドクラブ 西嶋様 (通訳)
- ・衛星クラブ 馬場秀則会員

■ 会長談話 井上修会長



今回の衆議院選挙・戦後最大の議席数を自民党が獲得致しました。惨敗した野党の敗因は、他党や他人の非難ばかりで政策を訴えなかった点にあると思います。以て他山の石と為したいと思います。

■ 1分間スピーチ

- ・伊澤和男会員

■ ニコニコボックス

- ◆井上修 ラムザン・アシャール君、本日の卓話宜しくお願い致します。英語クラブの方が通訳してくれます。大船に乗った気持ちで存分にお話し下さい。
- ◆加藤篤 ラムザン・アシャールさん、本日は卓話をよろしく申し上げます。また、英語クラブの西嶋さんも急なお願いにもかかわらずありがとうございます。
- ◆橋爪麻人 そろそろラマダンでしょうか。体に気を付けてください。
- ◆平澤理 ラムザン・アシャール君、本日の卓話よろしく申し上げます。
- ◆馬場秀則 衛星クラブの設立総会（4月21日）が近づいてきました。ご協力をお願いします。

■ 幹事報告

加藤篤幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・2月7日(土) 新入会員の集いの報告 池上幸平地区会員増強委員



開催日時 2026年2月7日(土曜) 13時 受付12時30分より
開催場所 中心会館(塩尻市)
主催 会員増強委員会、DÈI推進小委員会、RLI委員会

- 13時00分 名刺交換
- 13時20分 開会 RLI委員会 佐藤友則
出席者紹介 DÈI推進小委員会 中澤小百合
- 新入会員の集い主旨説明 竹村一男
- 13時40分 ガバナー挨拶 小林麿史
ガバナーエレクト 橋上信久
- 13時55分 元米山留学生 チャンゴックタオ
トウタクコン
元グローバル補助金奨学生 高島牧子
- 15時05分 デイスカッション RLI委員
- 第一部テーマ ロータリーに入会して
- 16時00分 第二部テーマ ロータリーでやりたい事・期待すること
- 16時50分 各グループ発表 山崎廣和
- 17時30分 金児進
- 19時30分 閉会式 古川静男

40歳～84歳位の新入会員が30名くらい参加し、全員で60名くらいでした。

各テーブルでのデイスカッションでは新会員の積極的な考えと、モチベーション高さに感心しました。自分のころとはかなりの違いがあるのにはとても感心しました。うちのクラブを含めて南信での参加者なかったのは、とても残念でした。

■ 出席報告

会員数40名 出席免除会員4名 長欠会員1名 本日出席者(例会場)22名(ZOOM)1名
事前メイク2名 出席率71.43% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「国際奉仕委員会」

・委員長挨拶 平澤理国際奉仕委員長



本日の卓話をして頂く、パキスタン出身のラムザン・アシャル君です。信大修士1年。総合理工学研究科農学専攻で、現在は食用作物の耐乾性・耐塩性の複合ストレス耐性機構の解明に取り組んでいます。

修了後は、母国の農業の発展と日本との友好関係の構築に貢献したいという熱意を持っている青年です。



・卓話 ラムザン・アシャール様



パキスタンには、代表的な料理：ビリヤニ（肉と米をスパイスで炊き込んだ料理）を始め、国内最大で世界有数のモスク（イスラム教の寺院）：ファイサル・モスクやインドス文明最大級の都市遺跡：モヘンジョダロなど魅力がいっぱいです。皆さん遊びに来てください。

(通訳の西嶋さんから、建造物（19世紀に建築されたヌール・マハル宮殿、世界遺産のラホール城など）に関する補足説明がありました。)



ビリヤニ



ファイサル・モスク



モヘンジョダロ



ヌール・マハル



ラホール城

・質疑応答

Q 具体的な研究内容を教えてください。

A パキスタンは、世界で最も塩害を受ける地域であり、このような状況で農業生産を増加させるためには、耐塩性の高い作物や品種の耐塩性機構を詳細に明らかにすることが重要です。また、パキスタンの年間降水量は地域によって200～1,200ミリメートルと少なく、干ばつも問題です。これらの環境が複合的に農業生産性に及ぼす影響を明らかにすることを目的に研究しています。

Q 土壌の塩分濃度が高い理由は何ですか。

A パキスタンには岩塩が採れるような山（海であった地殻が隆起して海水が閉じ込められたとも言われる）も多く、加えて降水量が少なく塩分が蓄積しやすい環境にあることが原因と考えられます。

Q 東西パキスタンの経緯について教えてください。

A かつてのインドが、ヒンドゥー教徒の国インドと、イスラム教徒の国パキスタンに分離独立し、さらに地理的・政治的に優位であった西パキスタンに対して、東パキスタンが独立宣言して現在のバングラデシュに、西パキスタンが現在のパキスタンになりました。

Q パキスタンが目指す主要産業は何ですか。

A 農業と繊維産業です。



・謝辞 井上修会長

■ 点 鐘 13:30

次回例会
3月3日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店
・理事会報告
・次期委員会構成の発表